

第五十九回帝國議會 衆議院

地租法案外六件委員會會議錄(速記)第二十二回

會議

昭和六年二月二十八日(土曜日)午後四時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 本田 恒之君

理事 西脇 晉君

理事 永田善三郎君

理事 中村 繼男君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 銀藏君

理事 清水 長郷君

海老澤爲次郎君

榎部 荒熊君

一松 定吉君

本多眞喜雄君

本多眞喜雄君

本多眞喜雄君

本多眞喜雄君

本多眞喜雄君

本多眞喜雄君

本多眞喜雄君

本多眞喜雄君

同日委員菊池良一君、松井文太郎君、辻本豊三郎君及八田宗吉君辭任ニ付其

ノ補闕トシテ榎部荒熊君、本田彌市郎君、一松定吉君及秦豊助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 次田大三郎君

內務書記官 岡田 周造君

內務書記官 鈴木 敬一君

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏書記官 川越 丈雄君

大藏書記官 野津高次郎君

大藏書記官 關原 忠三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地租法案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

〇本田委員長 開會致シマス、地租法案外六件ヲ一括シテ議題ニ供シマス、念ノ爲ニ申シマスガ、供託セラレマシタル耕地整理法中改正法律案ハ取殘シマス、是ヨリ討論ニ移リマス——大口君

〇大口委員 私ハ只今議題ト相成ッテ居リマスル案ノ全部ヲ政府ニ返付致シマシテ、根本的ニ作成替ヲ爲サシムルノ趣意ニ於テ反對ヲ致スモノデアリマス

固ヨリ減稅其モノニ對シマシテハ、反對致ス譯ハナイノデアリマス、寧ロ私共ハ此減稅額ノ餘リニ少キコトヲ痛感シテ居ル所ノ者デアリマス、併ナガラ減稅ハ申スマデモナク恆久的ノモラデアリマス、隨テ其財源モ亦恆久的

デナクチャナラナイト固ク信ジテ居リマス、ソコデ今回ノ提案ニ付テ段々研究ヲ致シテ見スルノニ、其財源ト云フモノハ、極メテ不確實デアルト考ヘマスルガ、寧ロ財源ナシト申シタ方ガ宜イノデハナカラウカト私共ハ認メザルヲ得ヌノデアリマス、政府ノ説明スル所ニ依リマスルト、今回ノ減稅ニ對シマスル、財源ハ所謂海軍保留財源五億八百萬圓デアルト云フコトニ相成ッテ居リマスルガ、此五億八百萬圓ト云フモノガ、頗ル不確實ノモノデアルト考ヘルノデアリマス、即チ此五億八百萬圓ト云フモノ、因ッテ來ッタ所ヲ考ヘマシマスルノニ、是ハ昭和五年度ノ概計表ニ依リマシテ、昭和六年度カラ十一年度マデノ間ノ財源ヲ積算致シタモノデアリマスルガ、其昭和五年ノ概計表ト云フモノニ於キマシテハ、經常部臨時部ヲ合セマシテ、毎年度ノ歲入ト云フモノガ約十五億七八千萬圓ト計上サレテ居ルノデアリマス、其歲入ガ多ク見積ラレテ居ル所ノ時代ニ出來マシタ、昭

付託議案

地租法案(政府提出)
營業收益稅法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)
大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)
都市計畫法中改正法律案(政府提出)
耕地整理法中改正法律案(政府提出)

和五年度ノ概計表デアリマシテ、ソレニ依ッテ歳出トシテ留保シテアッタ所ノ昭和六年度以後十一年度ニ至ル所ノ海軍保留財源ヲ合計致シマシテ、五億八百萬圓ノ財源アリト稱スルノデアリマシテ、今日即チ昭和六年度ノ現狀ニ於テ之ヲ見マスト云フト、歳入ト云フモノハ事實ノ上ニ於テ著シク激減致シテ居リマシテ、政府ノ提出致サレマシタ所ノ昭和六年度ノ概計表デ見マスト、經常部臨時部ヲ合セマシテ、歳入ト云フモノハ毎年度約十四億二三千萬圓ニ過ギナイノデアリマス、隨テ今日ノ現狀ニ即シマスト、此五億八百萬圓ト云フ保留財源アリト稱スルコトガ、既ニ根本ヲ誤ッテ居ルモノデアリマシテ、事實ニ於テ五億八百萬圓ト云フモノガ、ソレダケモウナイト云フコトガ明カナルモノデアラウト考ヘルノデアリマス、而モ相變ラズ前ノ年ニ決メマシタ五億八百萬圓ト云フモノヲ飽マデ認メテ、財源トシヨウト致シマスル結果、他ノ歳出ニ向ッテ著シキ減額ヲ來タサナケレバナラヌコトハ當然デアリマス

ソレガドウ云フ風ニ影響シテ參ッテ居ルカト申シマス、是ガ歳出ノ經常部ノ方ニ節減サレテ參ッテ居ルモノデアラナラバ、成程行政財政ノ整理ガ幾分出來テ居ルト云フコトヲ認メ得ル點モアリマセウケレドモガ、經常部ニ於テハ洵ニ僅ナシカ減ゼラレテ居リマセヌデ、其大部分ト云フモノハ歳出臨時部ノ方ニ於テ認メラレテ居リマスノガ事實デアリマス、即チ財政ノ根本的整理ヲ行ッテ減額ヲ圖ッタ譯デナクテ、政府事業ノ中止又ハ繰延ニ依ッテ此缺陷ヲ補填シテ居ルモノデアルト云フコトハ、數字ノ上ニ於テ明瞭ナル事實デアルト私ハ認メルノデアリマス、其結果歳出臨時部ト云フモノヲ今點檢致シマスト云フト、其中ニ於キマシテ規定ノ繼續費ト云フモノガ定メラレテ居リマス、此規定ノ繼續費ヲ差引キマスト云フト、其殘額ガ即チ繼續費以外ノ臨時費ニナルノデアリマスガ、是ガ昭和六年度ニ於キマシテハ一億二千餘萬圓認メ得ラレルノデアリマス、然ルニ昭和七年度ニナリマストハ千九百餘萬圓ニ減ジマスシ、昭和八年度ニ相成リ更ニ昭和九年度ニ參リマスト七千餘萬圓ニ減ジマシテ、ソレガ昭和十年度ニ相成リマスト五千七百餘萬圓ニ減ジ、昭和十一年度ニ相成リマスト僅ニ五千萬圓内外ニ是ガ減ズルノデアリマス、ソコデ此昭和六年度ニ於キマスル一億二千餘萬圓デアリマシテモ、我國ノ財政ハ非常ニ困難デアリマシテ、多數ノ有益事業マデモ中止繰延ベラレテ居ルヤウニ相成ッテ居ル、極メテ苦シイ

經濟ニ相成ッテ居ルノデアリマス、然ルトニソレガ八千餘萬圓、七千餘萬圓、遂ニハ五千餘萬圓シカ何等見テレテ居ラナイ状態デアリマス故ニ、到底我國ノ將來ノ財政ヲ考ヘマシテ、是デ行ケル譯ハナイト云フコトハ、常識ノ上カラモ認メナクテハナラヌノデアリマス

現ニ昭和六年度ノ一億二千二百萬圓ノ繼續費以外ノ臨時費ニ對シマシテ、一應點檢致シテ見マシテモ、各省ノ補助費ダケデモ六千八百萬圓ヲ有シテ居リマスルシ、内務省ダケデ申シマシテモ二千七百八十餘萬圓、農林省ダケデ申シマシテモ二千五百餘萬圓、商工省ダケニ致シマシテモ六百餘萬圓ヲ計上シテ居ルノデアリマスガ、更ニ其内容ヲ見マストバ、極メテ細カイモノガ澤山ニ集リマシテ此金額ヲ形造ッテ居ルノデアリマシテ、殊ニ内務省ナドデ見マストレバ、道路其他種々ナル港灣色々ナモノニ關係シテ、市町村ナドノ澤山ノ上水下水ノ補助費ナドモ含ンデ居リマス農林、商工ノ兩省ニ致シマスレバ、更ニ多數ノ産業ニ關スル所ノ費用ガ集ッテ居ルノデアリマス、是ガ本年ノ如キハ窮屈ニナリ困難ニナッテ居リマシテ、尙且ツ先刻申シマス通り一億二千二百萬圓ヲ擁シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ガ後年度ニ至リマシテ、先刻申シマス通り五千餘萬圓内外ニマデ減ジテ參ル

ト云フコトハ、非常ニ財政計畫ノ上ニ於テ無理ガアルト云フコトヲ吾々ハ考ヘネバナラヌノデアリマス、既ニ此減稅ノ財源トシテ認メラレテ居ル五億八百萬圓ニ對シテ、斯ノ如キ無理ガ行ハレテ居ルノデアリマス故ニ、此儘デ參リマスレバ我國ノ財政計畫ト云フモノハ頗ル危イモノデアルト云フコトヲ吾ハ確信セザルヲ得ナイノデアリマス

ソレノミナラズ此財政計畫ニ現レテ居リマスモノ以外ニ於キマシテデス、此頃頻ニ問題ト相成ッテ居リマス海軍補充計畫ニ關シマシテ、少カラザル將來ノ影響ヲ受ケルモノデアルト云フコトヲ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、即チ私ガ申ス迄モナク、今回ノ海軍補充計畫ト云フモノハ三億幾千萬圓デアリマスガ、是ハ所謂海軍補充計畫ノ根幹ヲ成スモノデアリマシテ、之ニ伴ヒマシテ更ニ所謂第二次補充計畫ト云フモノガ起ラネバナラス、是ハ總理大臣代理、海軍大臣並ニ大藏大臣ヲ認メテ居ラレル通りデアリマス、所謂第二次補充計畫ト云フモノハ海軍カラ申セバ第一次、第二次ト分ケベキモノデアナイト考ヘマスガ、便宜上私共ハ分リ良ク只今出テ居リマスノ第一次補充計畫ト稱シ、更ニ頭ヲ出シマスモノヲ第二次補充計畫ト名付ケテ此處デ説明致シテ見マスレバ、此第二次補充計畫トシ

テハ洵ニ僅ナシカ減ゼラレテ居リマセヌデ、其大部分ト云フモノハ歳出臨時部ノ方ニ於テ認メラレテ居リマスノガ事實デアリマス、即チ財政ノ根本的整理ヲ行ッテ減額ヲ圖ッタ譯デナクテ、政府事業ノ中止又ハ繰延ニ依ッテ此缺陷ヲ補填シテ居ルモノデアルト云フコトハ、數字ノ上ニ於テ明瞭ナル事實デアルト私ハ認メルノデアリマス、其結果歳出臨時部ト云フモノヲ今點檢致シマスト云フト、其中ニ於キマシテ規定ノ繼續費ト云フモノガ定メラレテ居リマス、此規定ノ繼續費ヲ差引キマスト云フト、其殘額ガ即チ繼續費以外ノ臨時費ニナルノデアリマスガ、是ガ昭和六年度ニ於キマシテハ一億二千餘萬圓認メ得ラレルノデアリマス、然ルニ昭和七年度ニナリマストハ千九百餘萬圓ニ減ジマスシ、昭和八年度ニ相成リ更ニ昭和九年度ニ參リマスト七千餘萬圓ニ減ジマシテ、ソレガ昭和十年度ニ相成リマスト五千七百餘萬圓ニ減ジ、昭和十一年度ニ相成リマスト僅ニ五千萬圓内外ニ是ガ減ズルノデアリマス、ソコデ此昭和六年度ニ於キマスル一億二千餘萬圓デアリマシテモ、我國ノ財政ハ非常ニ困難デアリマシテ、多數ノ有益事業マデモ中止繰延ベラレテ居ルヤウニ相成ッテ居ル、極メテ苦シイ

經濟ニ相成ッテ居ルノデアリマス、然ルトニソレガ八千餘萬圓、七千餘萬圓、遂ニハ五千餘萬圓シカ何等見テレテ居ラナイ状態デアリマス故ニ、到底我國ノ將來ノ財政ヲ考ヘマシテ、是デ行ケル譯ハナイト云フコトハ、常識ノ上カラモ認メナクテハナラヌノデアリマス

現ニ昭和六年度ノ一億二千二百萬圓ノ繼續費以外ノ臨時費ニ對シマシテ、一應點檢致シテ見マシテモ、各省ノ補助費ダケデモ六千八百萬圓ヲ有シテ居リマスルシ、内務省ダケデ申シマシテモ二千七百八十餘萬圓、農林省ダケデ申シマシテモ二千五百餘萬圓、商工省ダケニ致シマシテモ六百餘萬圓ヲ計上シテ居ルノデアリマスガ、更ニ其内容ヲ見マストバ、極メテ細カイモノガ澤山ニ集リマシテ此金額ヲ形造ッテ居ルノデアリマシテ、殊ニ内務省ナドデ見マストレバ、道路其他種々ナル港灣色々ナモノニ關係シテ、市町村ナドノ澤山ノ上水下水ノ補助費ナドモ含ンデ居リマス農林、商工ノ兩省ニ致シマスレバ、更ニ多數ノ産業ニ關スル所ノ費用ガ集ッテ居ルノデアリマス、是ガ本年ノ如キハ窮屈ニナリ困難ニナッテ居リマシテ、尙且ツ先刻申シマス通り一億二千二百萬圓ヲ擁シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ガ後年度ニ至リマシテ、先刻申シマス通り五千餘萬圓内外ニマデ減ジテ參ル

ト云フコトハ、非常ニ財政計畫ノ上ニ於テ無理ガアルト云フコトヲ吾々ハ考ヘネバナラヌノデアリマス、既ニ此減稅ノ財源トシテ認メラレテ居ル五億八百萬圓ニ對シテ、斯ノ如キ無理ガ行ハレテ居ルノデアリマス故ニ、此儘デ參リマスレバ我國ノ財政計畫ト云フモノハ頗ル危イモノデアルト云フコトヲ吾ハ確信セザルヲ得ナイノデアリマス

ソレノミナラズ此財政計畫ニ現レテ居リマスモノ以外ニ於キマシテデス、此頃頻ニ問題ト相成ッテ居リマス海軍補充計畫ニ關シマシテ、少カラザル將來ノ影響ヲ受ケルモノデアルト云フコトヲ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、即チ私ガ申ス迄モナク、今回ノ海軍補充計畫ト云フモノハ三億幾千萬圓デアリマスガ、是ハ所謂海軍補充計畫ノ根幹ヲ成スモノデアリマシテ、之ニ伴ヒマシテ更ニ所謂第二次補充計畫ト云フモノガ起ラネバナラス、是ハ總理大臣代理、海軍大臣並ニ大藏大臣ヲ認メテ居ラレル通りデアリマス、所謂第二次補充計畫ト云フモノハ海軍カラ申セバ第一次、第二次ト分ケベキモノデアナイト考ヘマスガ、便宜上私共ハ分リ良ク只今出テ居リマスノ第一次補充計畫ト稱シ、更ニ頭ヲ出シマスモノヲ第二次補充計畫ト名付ケテ此處デ説明致シテ見マスレバ、此第二次補充計畫トシ

テハ洵ニ僅ナシカ減ゼラレテ居リマセヌデ、其大部分ト云フモノハ歳出臨時部ノ方ニ於テ認メラレテ居リマスノガ事實デアリマス、即チ財政ノ根本的整理ヲ行ッテ減額ヲ圖ッタ譯デナクテ、政府事業ノ中止又ハ繰延ニ依ッテ此缺陷ヲ補填シテ居ルモノデアルト云フコトハ、數字ノ上ニ於テ明瞭ナル事實デアルト私ハ認メルノデアリマス、其結果歳出臨時部ト云フモノヲ今點檢致シマスト云フト、其中ニ於キマシテ規定ノ繼續費ト云フモノガ定メラレテ居リマス、此規定ノ繼續費ヲ差引キマスト云フト、其殘額ガ即チ繼續費以外ノ臨時費ニナルノデアリマスガ、是ガ昭和六年度ニ於キマシテハ一億二千餘萬圓認メ得ラレルノデアリマス、然ルニ昭和七年度ニナリマストハ千九百餘萬圓ニ減ジマスシ、昭和八年度ニ相成リ更ニ昭和九年度ニ參リマスト七千餘萬圓ニ減ジマシテ、ソレガ昭和十年度ニ相成リマスト五千七百餘萬圓ニ減ジ、昭和十一年度ニ相成リマスト僅ニ五千萬圓内外ニ是ガ減ズルノデアリマス、ソコデ此昭和六年度ニ於キマスル一億二千餘萬圓デアリマシテモ、我國ノ財政ハ非常ニ困難デアリマシテ、多數ノ有益事業マデモ中止繰延ベラレテ居ルヤウニ相成ッテ居ル、極メテ苦シイ

經濟ニ相成ッテ居ルノデアリマス、然ルトニソレガ八千餘萬圓、七千餘萬圓、遂ニハ五千餘萬圓シカ何等見テレテ居ラナイ状態デアリマス故ニ、到底我國ノ將來ノ財政ヲ考ヘマシテ、是デ行ケル譯ハナイト云フコトハ、常識ノ上カラモ認メナクテハナラヌノデアリマス

現ニ昭和六年度ノ一億二千二百萬圓ノ繼續費以外ノ臨時費ニ對シマシテ、一應點檢致シテ見マシテモ、各省ノ補助費ダケデモ六千八百萬圓ヲ有シテ居リマスルシ、内務省ダケデ申シマシテモ二千七百八十餘萬圓、農林省ダケデ申シマシテモ二千五百餘萬圓、商工省ダケニ致シマシテモ六百餘萬圓ヲ計上シテ居ルノデアリマスガ、更ニ其内容ヲ見マストバ、極メテ細カイモノガ澤山ニ集リマシテ此金額ヲ形造ッテ居ルノデアリマシテ、殊ニ内務省ナドデ見マストレバ、道路其他種々ナル港灣色々ナモノニ關係シテ、市町村ナドノ澤山ノ上水下水ノ補助費ナドモ含ンデ居リマス農林、商工ノ兩省ニ致シマスレバ、更ニ多數ノ産業ニ關スル所ノ費用ガ集ッテ居ルノデアリマス、是ガ本年ノ如キハ窮屈ニナリ困難ニナッテ居リマシテ、尙且ツ先刻申シマス通り一億二千二百萬圓ヲ擁シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ガ後年度ニ至リマシテ、先刻申シマス通り五千餘萬圓内外ニマデ減ジテ參ル

ト云フコトハ、非常ニ財政計畫ノ上ニ於テ無理ガアルト云フコトヲ吾々ハ考ヘネバナラヌノデアリマス、既ニ此減稅ノ財源トシテ認メラレテ居ル五億八百萬圓ニ對シテ、斯ノ如キ無理ガ行ハレテ居ルノデアリマス故ニ、此儘デ參リマスレバ我國ノ財政計畫ト云フモノハ頗ル危イモノデアルト云フコトヲ吾ハ確信セザルヲ得ナイノデアリマス

ソレノミナラズ此財政計畫ニ現レテ居リマスモノ以外ニ於キマシテデス、此頃頻ニ問題ト相成ッテ居リマス海軍補充計畫ニ關シマシテ、少カラザル將來ノ影響ヲ受ケルモノデアルト云フコトヲ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、即チ私ガ申ス迄モナク、今回ノ海軍補充計畫ト云フモノハ三億幾千萬圓デアリマスガ、是ハ所謂海軍補充計畫ノ根幹ヲ成スモノデアリマシテ、之ニ伴ヒマシテ更ニ所謂第二次補充計畫ト云フモノガ起ラネバナラス、是ハ總理大臣代理、海軍大臣並ニ大藏大臣ヲ認メテ居ラレル通りデアリマス、所謂第二次補充計畫ト云フモノハ海軍カラ申セバ第一次、第二次ト分ケベキモノデアナイト考ヘマスガ、便宜上私共ハ分リ良ク只今出テ居リマスノ第一次補充計畫ト稱シ、更ニ頭ヲ出シマスモノヲ第二次補充計畫ト名付ケテ此處デ説明致シテ見マスレバ、此第二次補充計畫トシ

テハ洵ニ僅ナシカ減ゼラレテ居リマセヌデ、其大部分ト云フモノハ歳出臨時部ノ方ニ於テ認メラレテ居リマスノガ事實デアリマス、即チ財政ノ根本的整理ヲ行ッテ減額ヲ圖ッタ譯デナクテ、政府事業ノ中止又ハ繰延ニ依ッテ此缺陷ヲ補填シテ居ルモノデアルト云フコトハ、數字ノ上ニ於テ明瞭ナル事實デアルト私ハ認メルノデアリマス、其結果歳出臨時部ト云フモノヲ今點檢致シマスト云フト、其中ニ於キマシテ規定ノ繼續費ト云フモノガ定メラレテ居リマス、此規定ノ繼續費ヲ差引キマスト云フト、其殘額ガ即チ繼續費以外ノ臨時費ニナルノデアリマスガ、是ガ昭和六年度ニ於キマシテハ一億二千餘萬圓認メ得ラレルノデアリマス、然ルニ昭和七年度ニナリマストハ千九百餘萬圓ニ減ジマスシ、昭和八年度ニ相成リ更ニ昭和九年度ニ參リマスト七千餘萬圓ニ減ジマシテ、ソレガ昭和十年度ニ相成リマスト五千七百餘萬圓ニ減ジ、昭和十一年度ニ相成リマスト僅ニ五千萬圓内外ニ是ガ減ズルノデアリマス、ソコデ此昭和六年度ニ於キマスル一億二千餘萬圓デアリマシテモ、我國ノ財政ハ非常ニ困難デアリマシテ、多數ノ有益事業マデモ中止繰延ベラレテ居ルヤウニ相成ッテ居ル、極メテ苦シイ

經濟ニ相成ッテ居ルノデアリマス、然ルトニソレガ八千餘萬圓、七千餘萬圓、遂ニハ五千餘萬圓シカ何等見テレテ居ラナイ状態デアリマス故ニ、到底我國ノ將來ノ財政ヲ考ヘマシテ、是デ行ケル譯ハナイト云フコトハ、常識ノ上カラモ認メナクテハナラヌノデアリマス

現ニ昭和六年度ノ一億二千二百萬圓ノ繼續費以外ノ臨時費ニ對シマシテ、一應點檢致シテ見マシテモ、各省ノ補助費ダケデモ六千八百萬圓ヲ有シテ居リマスルシ、内務省ダケデ申シマシテモ二千七百八十餘萬圓、農林省ダケデ申シマシテモ二千五百餘萬圓、商工省ダケニ致シマシテモ六百餘萬圓ヲ計上シテ居ルノデアリマスガ、更ニ其内容ヲ見マストバ、極メテ細カイモノガ澤山ニ集リマシテ此金額ヲ形造ッテ居ルノデアリマシテ、殊ニ内務省ナドデ見マストレバ、道路其他種々ナル港灣色々ナモノニ關係シテ、市町村ナドノ澤山ノ上水下水ノ補助費ナドモ含ンデ居リマス農林、商工ノ兩省ニ致シマスレバ、更ニ多數ノ産業ニ關スル所ノ費用ガ集ッテ居ルノデアリマス、是ガ本年ノ如キハ窮屈ニナリ困難ニナッテ居リマシテ、尙且ツ先刻申シマス通り一億二千二百萬圓ヲ擁シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ガ後年度ニ至リマシテ、先刻申シマス通り五千餘萬圓内外ニマデ減ジテ參ル

ト云フコトハ、非常ニ財政計畫ノ上ニ於テ無理ガアルト云フコトヲ吾々ハ考ヘネバナラヌノデアリマス、既ニ此減稅ノ財源トシテ認メラレテ居ル五億八百萬圓ニ對シテ、斯ノ如キ無理ガ行ハレテ居ルノデアリマス故ニ、此儘デ參リマスレバ我國ノ財政計畫ト云フモノハ頗ル危イモノデアルト云フコトヲ吾ハ確信セザルヲ得ナイノデアリマス

ソレノミナラズ此財政計畫ニ現レテ居リマスモノ以外ニ於キマシテデス、此頃頻ニ問題ト相成ッテ居リマス海軍補充計畫ニ關シマシテ、少カラザル將來ノ影響ヲ受ケルモノデアルト云フコトヲ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、即チ私ガ申ス迄モナク、今回ノ海軍補充計畫ト云フモノハ三億幾千萬圓デアリマスガ、是ハ所謂海軍補充計畫ノ根幹ヲ成スモノデアリマシテ、之ニ伴ヒマシテ更ニ所謂第二次補充計畫ト云フモノガ起ラネバナラス、是ハ總理大臣代理、海軍大臣並ニ大藏大臣ヲ認メテ居ラレル通りデアリマス、所謂第二次補充計畫ト云フモノハ海軍カラ申セバ第一次、第二次ト分ケベキモノデアナイト考ヘマスガ、便宜上私共ハ分リ良ク只今出テ居リマスノ第一次補充計畫ト稱シ、更ニ頭ヲ出シマスモノヲ第二次補充計畫ト名付ケテ此處デ説明致シテ見マスレバ、此第二次補充計畫トシ

テ將來現レベキモノハ、ドウシテモ總額ニ於テ一億四千萬圓ヲ下ルベキモノデナイコトヲ吾々ハ確信致スノデアリマス、此計畫が果シテ昭和十一年度以後ニ於キマシテドレダケ現レテ來ルカト云フコトハ、政府ニ於カレテモ言明ヲ致サレナイ、其他又細カイ詳シイ事ハ未定デアルト説明サレテ居リマスルガ、兎ニ角此ノ或ル部分ガ昭和十一年度以前ニ於キマシテ明瞭ニ頭ヲ出シ現シテ來ルモノデアアル、又之ニ著手致サナケレバ、我國ノ國防ト云フモノガ完全デナイト云フ意味ハ、總理大臣代理並ニ海軍大臣ノ御言明ニ依リマシテモ、吾々疑フ要セザル點デアリマス

然ルニ此財源ト云フモノガドウナッテ居ルカト云ヘバ、大藏大臣御言明ノ如ク、昭和十一年度ニ於キマシテ一錢一厘モ保留シテナイノデアリマス、斯ノ如ク明瞭ニ現レテ來ル所ノモノニ對シテ一錢一厘ノ茲ニ保留財源ガナイ、此位不確實ナモノハアリマセヌガ、是ハ如何ニシテ此財源ヲ調達スル考デアアルカ、之ニ對シ總理大臣代理、海軍大臣並ニ大藏大臣ニ對シマシテ、昨日モ種種質問致シ、應答モ受ケタノデアリマシテ、歸スル所ハ甚ダ漠然トシテ居リマシテ、大藏大臣ノ御答ニ依リマシテモ、マダ五年バカリ先ノ事デアアルカラ、其時ニナッタナラバドウカナルモノデ

アルト、斯ウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルヤウデアリマスガ、茲ニ確實ナル財源ヲ以テ吾々ヲ安心サセルダケノ御説明ヲ受ケルコトハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ状態デアリマスガ故ニ、此第二補充計畫ト吾々ガ稱スル所ノモノニ對シマシテ、昭和十一年以前ニ於ケル財源ト云フモノハ極メテ不確實ナルモノデアッテ、何處カラ是ガ生ミ出サレルカト云フコトハ捕捉スルコトガ到底出來ヌ、普通ノ算盤常識カラ申シマシレバ、ドウシテモ其場合増稅デモ致スヨリ外ニ仕方ガナイ道理ニナルノデアリマス

現ニ先刻申シマシタ海軍ノ第二補充計畫ヲ除キマシテ、概計表ノ上ダケ、即チ現在提供サレテ居ル財政計畫ノ上ノミカラ見マシテモ、甚ダ將來覺束ナイ所ノ我國ノ財政計畫デアアル、是ダケデモドウスルカト云フ私ノ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ハ入ガナケレバ已ムヲ得ナイカラ、將來ヤハリ繼續費ヲ繰延ベルヨリ仕方ガナイト云フコトヲ、力ヲ込メテ昨夜モ御説明ニ相成ッテ居ラレルノデアリマス、勿論繰延ベテ宜イモノハ繰延ベルコトニ吾々反對ハナインデアアルガ、今日カラ議會ニ提出サレテ、是ダケノ仕事ハ必要ナリトシテ議決ヲサシテ居ルモノガ、マダ議決ガ濟ムカ濟マナイ中カラ、繼續費マデモ

將來繰延ベナケレバナラナイト云フコトガ頭ノ中ニアリ、肚ノ中ノ計畫ニアルト致シマスナラバ、我國ノ繼續費ト云フモノハ根柢ガ危イモノデアッテ、何等ノ信用シ得ル所ノモノハナイト云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此位我國ノ財政計畫ノ危イモノハナイ、信賴スベキ點ハナイ、斯ウ云フコトニナル、況ヤ只今申シタ通り其財政計畫ニ一厘モナイモノニ對シテ、新ニ茲ニ事業ノ起ルコトハ今日カラ明瞭ニ認メラレテ居ルトスレバ、此位我國ノ財政ニ於テ將來憂フベキモノハナイト考ヘマス、斯様ニ考ヘマスレバ事實カラ言ヘバ第一減稅ト云フコトハ出來得ベキ事デハナイ、此減稅ニ對スル確實ナ財源ガナイ、無イモノヲ無理ニ茲ニ之ヲヤラウトスル結果ガ、斯ノ如ク我國ノ財政ノ將來ニ向ッテ頗ル不安ナ状態、不條理ナ状態ヲ現スモノデアルト吾々ハ斷ゼザルヲ得ヌノデアリマス、吾々ハ質問ノ際ニモ申シマシタ通り、決シテ軍國主義ヲ主張致ス者デハナイノデアリマス、勿論軍縮ガ出來レバ出來ルダケ國防ヲ縮メルコトハ結構デアリマス、又吾々ハ同ジ國防ヲ致シマスニモ出來ルダケ經濟ニ參レバ之ニ贊成ヲ致シタイ、之ニ努メタイノデアリマス、併ナガラ國家存立ノ上ニ於テ、國防ハ一日モ忽セニスベカラ

ス、又海軍ノ艦艇ノ維持費ニ致シマシテモ質問應答ニ依ッテ明カナル如ク、一萬八千噸ト云フモノハ既ニ一眼ノ前ニ數量ガ殖エテ參ルノデアリマスカラ、維持費亦増加セザルヲ得ナイコトハ明瞭デアリマス、然ルニ之ニ對シテモ財源ガ一厘モ見テナイ、今マデアッタ財源マデモ之ヲ外シテシマッタノデアリマスガ、故ニ益々吾々ハ此我國ノ財政ノ上ニ於テ危イモノデアルト云フコトヲ考ヘザルヲ得ヌノデアリマス

況ヤ政府ニ於カレマシテハ是デ歳入ハ確實デアルト唱ヘラレテ居リマス

ガ、吾々カラ見マスレバ現在見テ居ル所ノ政府ノ歳入見積額ト云フモノガ頗ル過大デアリマスコトハ、先日豫算會議ノ節ニ吾々申述ベタ通りデアリマス、若シモ不幸ニシテ吾々ノ見ル所ガ當リマシテ、此歳入ガ過大デアッタストレバ、此財政計畫ノ上ニハ更ニ一大打撃ヲ受ケネバナラナイト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、ソレ等ヲ考慮致シマスルト云フト、ドウシテモ茲ニ減稅ヲシヨウト云フコトガ、財政計畫ノ上カラ是ハ無理ナ仕事デアル、財源ノ無イモノヲ、少シ極端ナ言葉ヲ用ヒテ露骨ニ言ヘバ、有ルガ如クニ數字ノ上、紙ノ上デ辻褄ヲ合セテヤラウト云フノデアリマスガ故ニ、實質ヲ調査致シマスレバ、結局是ハ不能ニ終ル

カ、然ラザレバ或ル時期——其時期モ遠クナイ時期ニ於テ増稅ヲシナケレバ辻褄ガ合ハナイ、昭和六年ダケハ或ハ此豫算ガ通過シテ、歳入ニ於テ吾々ノ見積ルヤウデナク、幸ヒ政府ノ見積ノ如ク行クトスレバ辻褄ハ合ヒマセウガ、昭和七年度ニ於テハ直チニ破綻ヲ來サルヲ得ザル數字ニナツテ居ルコトハ明確デアルト私ハ確信スルノデアリマス、是ガ財源ガ寔ニ不確實デアル、寧ロ財源ナシト吾々ハ斷ゼザルヲ得ザル理由ノ大要デアリマス

更ニ私共此編成替ヲ求メ、根本カラ此改正ヲ致シタイト望ミマスル所以

ハ、本案ノ内容デアリマス、一言之ニモ觸レタイト考ヘマス、政府ニ於カレマシテハ今回ノ減稅ニ當ッテ、約一億三千四百萬圓ノ減稅ヲ致スト云ハレマス、如何ニモ多額ノ減稅ガ行ハレルヤウニ聞エマスケレドモ、ソレハ政府説明ノ如ク六箇年間ヲ意味シタ計畫デアリマスルガ故ニ、昭和六年度ニ於テハ僅ニ九百萬圓、其他ノ五箇年ニ於キマシテモ所謂平年度ニ於テ一箇年ニ二千五百萬圓ノ減稅ヨリ外出來ナイコトニナルノデアアル、即チ昭和六年度ノ豫算額ニ於キマシテハ租稅總額七億七千八百萬圓ニ對シマシテ、僅ニ九百萬圓ニ過ギザル減稅ト云フコトニナルノデアリマス、少シ形容シテ申セバ所謂九牛

ノ一毛ニ過ギナイ

サウシテ其内容ハドウデアアルカト言ヘバ、地租、營業收益稅、砂糖稅並ニ織物消費稅ノ四種類ヲ減稅スルト云フノデアリマスガ、地租ニ於キマシテ六百七十餘萬圓、營業收益稅ニ於キマシテ百二十餘萬圓、而シテ消費稅ニ對シテハ、砂糖消費稅ニ對シテ僅ニ二十一萬餘圓、織物消費稅ニ對シマシテ僅ニ九十一萬圓ニ過ギナイノデアリマシテ消費稅ト其他ノ稅トノ均衡ト云フモノ頗ル失ハレテ居ルコトヲ吾々認メザルヲ得ヌ、之ヲ少シ細カク算定シテ見マスレバ砂糖ニ對シテハ砂糖ヲ嘗メテ居ル人ナラバ、一箇年一人當リ僅ニ四錢ノ減稅デアアル、餘程良イ砂糖バカリ嘗メテ居ル人デモ一箇年一人當リ僅ニ八錢ノ減稅ニ過ギナイト云フ狀況デアリマス、織物消費稅ニ致シマシテモ、銘仙一反ニ對シ僅ニ二錢當リニ過ギナイト私共ハ考ヘルノデアリマス、洵ニ微細ナルモノデアアルコトヲ吾々ハ思ハナクテハナラヌト考ヘマス

私共ハ減稅ト云フコトニ對シテハ稅制根本ヲ整理致シマシテ、少クトモ年額五千萬圓ノ減稅ヲ必要ト致スコトハ豫ネテ天下ニ公表シテ居ル通りデアリマス、隨テ私共ハ稅制ノ根本ヲ御改正ニナリ、御整理ニナルト云フコトデア

レバ、其御趣旨ニハ贊成デアリマス、

現政府ニ於カレマシテモ今回行政財政ノ整理調査會ヲ置カレマシテ、昭和六年度ニ於キマシテハ、稅制ノ根本的整理ニ著手サレルト云フコトガ發表サレテ居ルノデアリマス、此事ヲ今日爲サレマスニ付テハ私多少ノ議論ガアリマスガ、ソレハ只今ハ申シマセヌ、兎ニ角此事業ヲヤラレルト云フノデアアルナラバ、私共今回ノ此四種類ノ稅法ノ改正ト相關聯致シマシテ、果シテ其間ノ關係ハ如何デアアルカト云フコトヲ考ヘテ見タイノデアリマス、大藏大臣ハ今回御提案ニナツタ四種類ノ稅ハ、新ニ設ケラレル稅制調査會ニ於ケル研究ノ中ニハ、先ヅ大體ニ於テ入レナイト云フ御考デアアルコトヲ明言サレテ居リマ

ガ、今回ノ御提案ハ金額ニ限リガアリマシタ爲ニ、唯主ニ負擔力ニ對シテ減稅ヲ見ラレタモノデアッテ、稍、社會政策

ハ加ッテ居ルガ、産業政策ト云フヤウナコトハナイト明言サレテ居ルノデアリマス、勿論是ハ政府委員ガ申サレタコトデアッテ、大藏大臣ハ稍、是モ這入ッテ居ルト云フ意味ノ御答ニナツテ居リマスガ、兎ニ角殆ド産業政策ナルモノハ之ニ加味サレテ居ラナイモノト見ナクテハナラナイ、私共ハ稅法ヲ根本カラ整理改革致シマスニハ、勿論負擔ノ均衡負擔力ノ如何、是ハ勿論ノコトデアリマスガ、其他ニモ社會政策、産業政

策ヲ加味シテ所謂國民經濟ノ根本ニ即シタル稅ノ改正ヲ致スコトガ、時代ニ適シタルモノデアルト考ヘルノデアリマス、此點カラ申スト將來稅ノ整理ヲサレマス場合ニハ、今回ノ四種類ノ稅モ共々他ノ稅ト比較致シマシテ、根本カラ之ヲ研究シテ、總テノ上カラ國民經濟ノ根柢ニ即シタルモノニ致サナクテハナラヌト考ヘルノデアリマス、其點カラ申スト、今回ノ減稅ト云フモノハ事實カラ言ヘバ、或ハ昭和六年一年ダケノ暫定的ノモノニ終ルノデハナカラウカト考ヘザルヲ得ヌノデアリマス、是ガ此案ニ對シテ根柢カラ研究ヲシ直ス必要ガアルト私共ノ考ヘタ一ツノ理由デアリマス

更ニ其内容不備ノ點ニ付テハ何レ本會議ニ於テ同僚ヨリ詳シク申述ベヤウト思ヒマスカラ、私ハ今日ハ極メテ簡單ニ申述ベテ一例ヲ舉ゲルニ止メマサガ、今回提案サレマシタ地租ノ如キハ賃賃價格ニ依ルコトニナルノデアリマサガ、此賃賃價格ハ御承知ノ如ク四年バカリ以前ノ狀況ニ依ッテ調ベラレタモノデアリマスガ故ニ、今日ノ如ク經濟界ニ激變ヲ見タル場合ニ於キマシテハ、畑、殊ニ山林ノ如キハ容易ナラザル價格ノ下落ヲ見テ居ルノデアリマス、隨テ此賃賃價格ノ上ニ於テモ餘程ノ變化ガナクテハナラナイモノト考ヘマス

ガ、之ニ對シテ大藏大臣ノ御答辯ハ、物價ガ下レバ總テノモノガ先ヅ同ジヤウナ比例デ下ルモノト思フカラ、大ナル不公平ハナカラウト信ズルト云フ御答辯デアリマスガ、是ハ吾々ガ事實ノ上カラ調査シテ、此大藏大臣ノ御答辯ハ斷ジテ當ッテ居ナイコトヲ、吾々ハ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、隨テ斯ウ云フ點カラ申シマシテモ、此賃賃價格ト云フモノガ今日ニ即シテ、決シテ公平ナルモノデハナイ、頗ル不公平ナル狀態ニナツテ居ルト云フコトヲ吾々ハ認メザルヲ得ヌノデアリマス、殊ニ此地租ノ如キハ、先日來同僚ヨリ質問ガアリマシタ通り、賃賃價格ヲ決メマシテ、ソレガ今マデノ地租ニ較ベテ、三倍八割マデノ増加ヲ認メテ、其處デ打ちリマシタ結果ハ、三倍八割以上ニ賃賃價格ノ殖エルベキ等ノ租稅ハ誰カ負擔スルカト云フト、是ハ一般ノ納稅者府モ御認メノ通りデアリマス、ソレハ地租額ヲ減ラサナイ程度ニ於テ定メラレタノデアリマシテ、政府ガ取ル金額ガ定ッテ居ル結果トシテサウ云フコトニ相成ルノデアリマス、即チ地價ガ非常ニ殖エタ、理論カラ云ヘバ當然納ムベキ人ノ租稅ヲ、一時ニ其人カラソレダケ取ツテハ、餘リニ激變スルト云フノ

トシテ大多數ノ納稅者ガソレヲ負擔ヲシテ行カネバナラナイト云フコトニ相成ッテ居ル、是亦其處ニ不公平ガ起ルト云フコトモ考ヘネバナリマセス、殊ニ此宅地ト田畑トノ間ニ尠カラザル異動ヲ生ジマシタ結果ト致シマシテ、宅地租稅ノ現行法ト今回ノ改正案トヲ比較シテ見マス、地方附加稅マデ全部ヲ入レテ納稅者ノ懷合カラ歩合ヲ出シテ見ルト、全國的ニハ二倍三割三分ノ増加ニナリマス、六大都市ヲ平均致シマスト、二倍七割三分三厘ノ増加デアリマシテ、最モ多イモノヲ申セバ、五倍一割九分一厘ノ増加ニナルノデアリマス、即チ宅地租ト云フモノハ、非常ニ殖エルカラ、增稅サレマス結果、東京市ノ如キハ四百六十餘萬圓ノ増加ヲ見ナクテハナラナイ所ノ實況ニ相成ッテ居ルノデアリマス、誠ニ急激ナル變化デアリマス、此點ニ對シマシテモ總テノ政策ヲ加味致シマシテ尙ホ餘程是ハ調査研究ヲ致ス必要アリト私共ハ考ヘルノデアリマス

マス、例ヘバ都會ハ宅地ガ多イ處デアリマスガ故ニ、非常ニ稅ガ増シテ參ッテ、租稅ノ激増ヲ來シマス、其激増シタ租稅ヲ取ラズニ置イテ吳レ、バ宜イガ、今日ノ都會ノ自治財政ノ狀態カラ見レバ、必ズヤ是ハ稅金ダケハ取ルニ決ッタモノト先ヅ吾々ハ見ナクテハナリマセス、是ハ都會ニハ非常ナル增稅ニナルコトハ明瞭デアリマス、然ラバ村落ハ如何デアアルカト云ヘバ、成程地租總體カラ云ヘバ村落ハ減稅ニ多少ナリマス、隨テ地租ノ附加稅ガ減ッテ參リマス、減ッテ來レバドウナルカト云ヘバ、今日市町村ノ自治體ハ仕事ガ出來マセス、財源ガ減リマス仕事ガ出來マセス、ソレダケ仕事ヲ減ズレバ宜イガ今日ノ市町村ノ狀態ニ於キマシテハ仕事ヲ減ズルコトハ頗ル困難ナ事情ニアリマス、隨テ其歲入ノ減ッダケハ何處ヘ來ルカト云フト、結局家屋稅、又ハ戶數割ニ是ガ轉化致サレマスルガ故ニ、結局是ハ地方自治體、農村ト云フモノハ、戶數割家屋稅ト云フモノガ增稅ニナツテ參ッテ、全國的ニハ增稅ヲ促

更ニ是ガ地方稅ニ及ボシマス所ノ影響ハ如何デアアルカト言ヘバ、地方稅ヲ殖シモセズ、減シモシナイ程度ニ於テ今回ノ附加稅率等ヲ御定メニナツタト云フコトデアリマス、成程全國的ニ見レバ左様ナル結果ニ相成ラウト思ヒマス、併ナガラ之ヲ細カニ研究シテ見

ス結果ニナルト云フコトハ誠ニ私共ハ明瞭ナル事實デアルト考ヘルノデアリマス、即チ私共ハ此地方ノ自治體ニ對シマシテハ、昨日內務大臣ニ對シマシテ質問ノ際申述ベマシタ通り、洵ニ今日ノ財政狀態ニ對シテ、同情ヲシ、又

見レバ左様ナル結果ニ相成ラウト思ヒマス、併ナガラ之ヲ細カニ研究シテ見

對シマシテ、海軍ノ方ニ於カレマシテハ、海軍大臣カラ先ノ御答ヲ取消サレマシテ、ヤハリ四隻ガ舊計畫デアッテ新計畫ノ潜水艦ハ一隻デアアル、他ノ二隻ハハ豫算ニハナイガ、其年度ノ中ニ於テ前金ヲ拂ハナクテモ宜イ、外部ニ契約ヲ致ス考デアアルト云フコトヲ最初言ハレタノデアリマス、是モ段々内田君ヨリノ質問ニ依ッテ之ヲモ取消サレテ居リマシテ、結局昭和六年度ニ於キマシテ潜水艦ノ新計畫ニ依ル建造ト云フモノハ一隻以外ニハナイ、他ニ契約ヲ致スコトハモウ取消シタト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマスルガ、昨日私ガ政府委員ニ向ヒマシテ、此豫算ニナイ軍艦ナドヲ豫メ前金ヲ拂ハズニ、契約ダケニ於テ外部ニ注文スル場合ニ、法令上如何ニ大藏當局ハ解釋シテ居ラルルカト承リマシタ時ニ、川越政府委員カラ御説明ガアリマシテ、學理上カラハ是ハ差支ナイモノデアアル、併ナガラ實際ニ於テ、之ヲヤラレタ日ニハ堪ラナイカラ、ソレハ成ベクヤラセナイ方針ヲ執ッテ居ルト云フ御言明デアリマシタ故ニ、此稅制案ノ討議ノ場合ニ於キマシテ斯ル事デ學術上ノ意見ヲ茲ニ交換シテ居ッテ、時間ヲ費シマスコトハ如何デアルト考ヘマシテ、學術上ニ關シマスル意見ノ交換ハ實ハ私ハ留保致シタ積リデアリマス、川越君

ノ御説ニ絶對ニ服從ハシナイ、川越君ノ仰シヤルダケノコトハ私モ實ハ存ジテ居ッタノデアアルガ、議論ハソレ以上アルガ、ソレハ今日ハ致サナイ、唯政府ニ於テハ學術上ノ意見ハ左様デアルトシテモ、實際行政上ニ於テ是ハ成ベクヤラセナイ方針デアアル、之ヲヤラセタノデハ豫算竝ニ財政計畫ハ立タナイカラト云フ御話デアッタカラ、其點ヲ諒トラシマシテ私ハ此質問ハ打切ッテアッタノデアリマスルガ、或ハ是ガ誤リ傳ヘラレマシテ、一度取消サレタ海軍ノ二隻ノ潜水艦モ又復學理上差支ガナイト大藏當局ガ言ッタト云フノデ、新ニ御註文御契約デモナサルト云フヤウナ事マシ、甚ダ私ハ宜シクナイト考ヘシ、即チ昭和六年度ヨリ毎年八千四百六十萬圓宛ノ減稅ヲスルコト「稅種、稅額、制限其他ニ付テ順次述べマス」先ヅ第一ニ地租ニ付テハ金額二千萬圓、稅額一圓未滿ヲ免稅スルコト、營業收益稅ニ付キマシテハ一千萬圓、個人ノ純益二千圓以下ニ對シ免稅スルコト、砂糖消費稅ハ四百六十六萬圓、次ニ織物消費稅五百萬圓、人絹綿交織ニ付テ免稅スル、ソレカラ煙草ノ値下五千五百萬圓、朝日「バット」以下ヲ値下スルコト、酒稅ニ付キマシテハ三千萬圓、無產大衆ノ飲用スル一般的酒精ニ對シ免稅スルコト、以上稅率ニ付テハ政府ニ於テ適宜御定メヲ願ヒタイ、ソレカ

○本田委員長 松谷君
○松谷委員 私人今回政府カラ御提案ニナリマシタ減稅案ノ金額ト云フモノハ餘リニモ少イ、マルデ胡麻鹽ヲ撒イタ位シカナイ、而モ其胡麻鹽ガ何人ニ主ニ利益ヲ與ヘテ居ルカト言ヒマスナラバ、是ハ殆ド全部九分九厘ト云フモノハ所謂地主資本家ニ與ヘラレテ居ルノデアリマシテ、無產階級ニハ何等ノ利益モ齎シテ居ラヌ、甚ダ私ハ此點ニ遺憾ヲ感ズル、其意味ニ於キマシテ我ガ無產黨カラハ今度ノ減稅案ニ對シマシテ一ツノ修正案ヲ提案スル、ソレハ「今回ノ倫敦海軍條約ニ基ク軍縮剩餘金五億八百萬圓全額ヲ減稅ニ充當スベシ、即チ昭和六年度ヨリ毎年八千四百六十萬圓宛ノ減稅ヲスルコト」稅種、稅額、制限其他ニ付テ順次述べマス

ラ地價ヲ賃賃價格ニ改メタル結果、現在ノ地租額ノ三倍八割ヲ超ユル土地ニ付テハ三倍八割ニ制限セラレル此條項ヲ削除スルコト、斯ウ云フ修正意見ヲ提出スル次第デアリマス
簡單ニ理由ヲ申述べマスガ、結局此減稅ニ對シテハ或ル意味ニ於テ寧ロ全然私共ハ反對意見ヲ持ッテ居ル、否認スル意見ヲ持ッテ居ル、少クトモ此減稅案ニ對シテハ信用ガ置ケナイ、サウ云フ大體ノ考ヲ持ッテ居ル、ガ私共ハ何等案ヲ示サズシテ政府ニ要求スルノハ無理デアルト考ヘテ、斯ウ云フ修正案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、現ニ政府ハ再三再四倫敦條約ニ基ク軍縮剩餘金ハ主トシテ國民ノ負擔減輕ニ充テラレルト云フコトハ再三ノ聲明デアッタノデアリマス、然ルニ愈々蓋ヲ開ケテ見ルト云フモノハ海軍ノ補充計畫ニ廻サレト云フモノハ海軍ノ補充計畫ニ廻サレタノデアリマス、サウシテ僅カ共三分ノ一ニ足ラス所ノ一億三千四百萬圓シカ今度減稅ニ充テラレナイ、實ニ是位國民ヲ欺瞞シタモノハナイト言ッテ宜シイノデアリマス、全ク政府ハ自己ノ聲明ヲ裏切り、國民ヲ欺瞞シタモノト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、何故ニ斯ウ云フ風ニ國民ヲ欺瞞シ自己ノ聲明ヲ裏切ッタカト云フニ、是ハ申ス迄モナク倫敦會議ニ於ケル軍縮會議ノ比率

ニ付テ當時濱口總理大臣ハ加藤軍令部長ノ同意ヲ得ラレナカッタ、サウシテ同意ヲ得ズシテ若槻全權ニ向ッテ比率ニ同意ノ回訓ヲ與ヘラレタ、隨テ之ニ對シテ加藤軍令部長カラシテ嚴重ナル抗議ヲ申込マレ、遂ニハ統帥權干犯ノ問題ヲ起シ、サウシテ加藤軍令部長ハ遂ニ自己ノ責任ヲ感ジテ辭職シタ、續イテ軍事參議官會議ノ開催トナリ、結局倫敦會議ノ比率デハ我ガ國防ノ安全ヲ期シ難イト云フ決議ヲ突付ケラレマシテ、サウシテ内閣ノ運命モ且夕ニ迫ッタノデアリマス、ソコデ周章狼狽ノ極、遂ニ此五億八百萬圓ノ中其三分ノ二強、大部分ヲ結局補充計畫ニ廻シタノデアリマス、斯ノ如ク内閣ハ全ク海軍ノ恫喝ニ基イテ、其存立ガ危イト云フノデ、自己ノ所謂黨派、自己ノ内閣ノ存立ノミヲ念トシテ、何等國民大衆ノ利害ト云フ事ヲ念頭ニ置カズシテ海軍ニ屈從シタ、實ニ私ハ遺憾千萬デアアル、是レ程卑怯ナ内閣ハ恐ラクハナカラウト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

又之ヲ國民ノ側カラ見マスルナラバ、現ニ内閣ガ金解禁ヲ斷行シ、或ハ緊縮政策ヲ行ッテ、消費節約ダトカ色々ノ政策ヲ行ハレタ結果、世ノ中ガ益ノ不景氣ニナッテ、物價ハ底知ラズドン／＼下落ヲスル、中産階級ハ破産、倒産、夜逃ゲヲスル、小銀行ハドン／＼閉出シテ喰ハス、サウシテ支拂停止ヲスル、工場ハ閉鎖スル、サウシテ税金ノ滯納者、不納者ハ續出致シマシテ、現ニ本年度ノ歳入不足額ガ八千萬圓ニモ及ンダ、是程不景氣ガドン底ニ於テコソ、初メテ私ハ此五億八百萬圓減稅ニ廻シテ、サウシテ此危急ヲ救フベキチヤナカッタカ、此意味ニ於キマシテ私ハ軍縮剩餘金全部ヲ減稅ニ廻スベキモノデアルト云フ主張ヲナス所以デゴザイマス

更ニ之ヲ海軍自體カラ見マシテモ、日本ガ倫敦條約ノ制限外ダカラト云ッテ、制限外艦艇ヲドシ／＼造ル、或ハ空軍ノ擴張ヲスルナラバ、各國モ亦是ト同様ニドン／＼軍擴ヲヤリハシナイカ、現ニ米國ノ如キハ昨年末ニ於テ空軍ノ大擴張ノ發展ヲナシテ居ルト云フデハゴザイマセスカ、斯ノ如クニシテドンドン軍擴ヲヤルナラバ、延イテハシマヒニハ其負擔力ニ果シテ日本ガ堪ヘルカドウカト云フコトモ能ク考ヘナケレバナラヌ、結局是ハ次ノ戰爭ノ準備ヲ爲シツ、アルモノト言ハレテモ、一言モ辯解ノ辭ナシト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、吾々ハ斯ノ如ク軍國主義、又資本主義的帝國主義ニ對シテハ絕對ニ反對スル立場カラモ、斯ウ云フ金ハ宜シク減稅ニ廻スベキモノデアルト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

更ニ奇怪ナルハ今回ノ昭和六年度ノ減稅案ハ僅ニ九百萬圓、次年度カラハ約二千五百萬圓ヲ充テ、居ラレマスケレドモ、實ニ現在程不景氣ナ世ノ中ハナイ、不景氣モ底ヲ突イテ段々景氣ガ好クナルト云フ今日ニ於テ、何故ニ九百萬圓トセラレタカ、是ハ私ハ全ク減稅ノ順序ヲ誤ッタモノデアッテ、斯ノ如キハ絕對ニ反對セザルヲ得ナイノデアリマス

更ニ不法デアアルノハ其減稅ノ種類及比率デアリマス、ソレハ御承知デモアリマセウガ、此案ニ依リマス、地租ガ昭和六年度ニ於テ六百七十七萬圓、營業收益稅ニ於テ百二十一萬圓、即チ資本家地主ノ負擔タル所ノ稅額合計七百九十八萬圓、之ニ反シマシテ、一般大衆ノ負擔スル所ノ稅ハドレダケデアルカト云ヘバ、砂糖消費稅ニ於テ二十萬圓、織物消費稅ニ於テ九十一萬圓、合計百十二萬圓シカヤッテ居ラスノデアリマス、其七百九十八萬圓ト百十二萬圓ヲ比率シテ見ルナラバ、資本家地主ノ税金ニ於テ八割七分六厘減稅セラレテ、一般大衆ノ負擔ニ付テハ僅ニ百十二萬圓、二割二分四厘ニシカ當ッテ居ラス、是ハ明カニ此僅ナ胡麻鹽ヲ振撒イタヤウナ税金ノ中ニ於テモ、如何ニ資本家地主ヲ擁護セラレテ、一般大衆、就中無産階級ヲ無視セラレタカト云フコトハ極メテ明瞭デアリマス、隨テ斯ウ云フ減稅案ニ對シテハ、無産黨トシテハ絕對ニ反對デアルト云フコトヲ表明シテ置ク次第デゴザイマス、現ニ砂糖ノ如キハドレダケ下ッタカト云フト、一斤ニ付テ三厘カ五厘、年額使ッテ七錢カ八錢シカ減稅ガ出來テ居ラス、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、ドウシテモ私ハ斯ウ云フ偏頗ナル所ノ稅ノ減稅方針ニ付テハ絕對ニ反對ヲスルモノデアリマス

又更ニ之ヲ地租ノ方カラ見マスルト、現在ノ地租ヲ納稅スル人員ハ約一千萬人デアリマス、其中稅額カラ之ヲ調ベテ見ルト、二十錢以下ノ納稅者、ソレガ約二百四十萬人、一圓以下ノ納稅者ハドレダケカト云ヘバ、二百六十萬人、合計五百萬人、此一圓以下ノ納稅者ト云フモノハ、地租ヲ納ムル者ノザツト半分デアリマス、斯ノ如キ小サイ所ノ所謂小農ニ對シテ、然ラバ此減稅ハドレダケノ率ニ當ッテ居ルカト云ヘバ、二十錢以下ノ者ニ對シテハ一割五分強デアリマスガ、二十錢以下ノ者ニ對シテハ一年僅ニ三錢シカ減稅ニナッテ居リマセヌ、三錢五厘位ニシカ當ッテ居ラス、又之ヲ一圓ヅ、ヲ納メルモノト假定致シマシテモ、僅ニ十五錢五厘位シカ減稅ニナッテ居ラス、ソレデアッテ果シテ此減稅ガ政府ノ屢々聲明セラ

レル如ク、農村ノ疲弊ヲ救済スル爲ニ
地租ハ減税スルノデアルト言ハレルナ
ラバ、三錢ヤ十五錢一年ニ負ケテ貰
テ、ソレデ農村ノ疲弊ガ救済出來ルト
考ヘテ居ラレマスカ、實ニ私ハ無産大
衆、就中農村ノ小農ニ對シテ何等ノ其
實ヲ擧ゲナイ減税デアッテ、斯ノ如キ減
税ハ空ク方策ヲ誤ッタモノト考ヘザル
ヲ得ナイ、隨テ私共ノ案ト致シマシテ

ハ、一圓以下ノ税金ヲ納メル者ニ對シ
テハ全部之ヲ免税ヲ致シテ、サウシテ
之ヲ救済スルコトガ最モ適當デアラウ
ト云フノデ、私共ハサウ云フ提案ヲス
ル次第デアリマス、營業收益税ニ付テ
モ私ハ同様ノ意見ノ下ニ於テ現在ノ免
税點ヲ二千圓ニ引上グルト云フ提案ヲ
爲ス次第デゴザイマス、更ニ之ヲ織物
消費税ニ付テ見マスルナラバ、織物消
費税ノ綿ト麻トカ、或ハ綿ト毛ト半々
ニ交ゼタモノニ付テハ免税ヲシテ居
ル、然ルニ人絹ト綿トノ交織物、半々
ノ交織物ニ對シテハ何等ハ免税ヲシ
テ居ラヌノデアリマス、是ハ岡田忠彦
氏ノ調査ニ依ルト、綿ノ八十番手百封
度ガ百三十五圓ダト云ハレル、人絹百
五十「デニール」デヤハリ百封度百十三
圓、サウスルト綿ヨリモ人絹ノ方ガ安
イ、安イカラシテ從ッテ私ハ人絹ト綿
トノ交織物ニ對シテ何故減税ヲセラレ
ナイカ、政府デハ高イノト計算ヲ澤

山セラレマシタケレドモ、私共ハソレ
ヲ信用スルコトガ出來ナイ、今一應十
分ニ御調査ニナッテ、村ノ娘ニ人絹ト綿
ノ交織物位ヲ著セテヤッテモ宜カラウ
ト云フ考デ、此點ハ私共カラシテ所謂
今回ノ減税ニ入レテヤラセタイト云フ
コトヲ一言申述ベテ置ク次第デアリマ
ス

ト云フコトニ付テ、甚ダ遺憾ノ意ヲ表
セザルヲ得ナイ次第デアリマス、隨テ
此規定ノ如キハ全然削除スルト云フコ
トヲ提案スル次第デアリマス

最後ニ政府ハ今回ノ地租課税標準ヲ
改正セラレマシテ地價ヲ貸賃價格ニ改
メラレタ、私ハドウ云フ理由デ改メラ
レタカト云フコトニ付テ、政府ノ御説
明デハ納得ガ行カナカッタノデアリマ
スガ、併ナガラ是ハ色々學理上ノ議論
モアリマセウカラシテ、其點ハ姑ク措
クト致シマシテモ、結局地價ヲ貸賃價
格ニ改メラレタト云フコトハ、小作爭
議ノ頻發スル時ニ當リマシテ、地主擁
護ノ爲ノ所謂改正デハナカラウカ、此
點ハ私ハ現ニ帝國農會アタリデ調べタ
調査ニ依リマシテモ、小作爭議ノアッタ
處ハ地租ハ何時デモ三割五割ノ値下ニ
ナッテ居ル、之ヲ擁護スル爲ニ地價ヲ貸
賃價格ニ改メラレタトスルナラバ、此
處ニモ露骨ニ地主擁護、資本擁護ヲ現
シタモノデアッテ、斯ウ云フコトニ付テ

ハ反對ノ意ヲ表セザルヲ得ナイノデア
リマス、就中地價ヲ貸賃價格ニ改メル
際ニ於キマシテ、東京ノ三菱ヶ原、是
ハ政府カラ材料ヲ御提出ニナリマシタ
カ
ラシテ、特ニ三菱ヶ原ニ付テ申上ゲ
マスガ、現在ニ於テ三菱ヶ原ハ一坪ノ
地價ヲ十圓ト見テ居ラレルヤウデアリ
マスガ、アノ原ノ地價ヲ十圓ト見ラレ
ル人ハ何處ノ世界ニモナカラウ、恐ラ
ク千圓、二千圓デアラウト思フガ、ソ
レハ姑ク措キ、今度ソレヲ貸賃價格ニ
改メテ百圓トセラレタ、サウシテ是亦
貸賃價格ハナイノデアリマス、貸賃價格
デアラカラシテ、是亦千圓二千圓ニ上
ルデアラウト考ヘテ居リマスケレド
モ、政府デハ僅ニ之ヲ百圓ニシカ認メ
テ居ラレナイ、假ニ百圓ト致シマシテ
モ、地價ガ十圓トシテ百圓ナラバ十倍
ノ値上ニナル、ソレヲ特ニ三倍八割ニ
制限セラレタノデアリマス、耕地整理、
區劃整理其他ノ所謂地租ノ變動ノアッ
タ場合、地目變換等ノ場合ニ於テハド
シドシ當リ前ニ取ッテ居ラレナガラ、今
同ノ地價ヲ貸賃價格ニ改メラレタ場合
ニ於テ三倍八割ニ制限セラレタト云フ
コトハ、取リモ直サズ、是亦資本家地
主ノ擁護デハナイカ、露骨ニ言フナラ
バ、三菱ヶ原ニ付テ言ヘバ、三菱擁護
ノ法律デハナカラウカト私ハ言ハザル
ヲ得ナイ、斯ノ如キハ甚ダ怪シカラヌ
譯デ、公平ノ觀念カラスルナラバ、百
倍ニ上ッたら百倍、千倍ニ上ッたら千倍
ニ増税シナイカ、私ハ斯ノ如キ點ニ於
テ、課税ニ公平ノ觀念ヲ無視セラレタ

ト云フコトニ付テ、甚ダ遺憾ノ意ヲ表
セザルヲ得ナイ次第デアリマス、隨テ
此規定ノ如キハ全然削除スルト云フコ
トヲ提案スル次第デアリマス

ハ、現在ニ於テ先程モ申上ゲタ如ク八
千萬圓モ歳入ガ減額シテ居ル、斯ウ云
フドン底ニアル時コソ、私共ノ考カラ
言フナラバ、本當ニ取レヌモノハドン
ドン免税シテヤッタラ宜イ、ソレカラ又
税金ノ延納モ認メテヤッテ然ルベシト
思フノデアアルガ、政府ハ苛斂誅求、實
ニ殘酷ナル税ノ取方ヲセラレルト云フ
ノデ、吾々ニ頻々ト其不平ヲ慫ヘテ來
ル次第デアリマス、斯ノ如キ時ニ於テ
コソ、初メテ私ハ減税ヲシテ、此困ッテ
居ル者ヲ救フノコソ本當ノ政府ノヤル
ベキ途デアルト思フニ拘ラズ、此減税
案ニ依ルト政府ハ徹頭徹尾資本家ノミ
ヲ擁護セラレ、僅ニ織物ガ少シ値下ゲ
ニナッタノト、ソレカラ又砂糖ガホンノ
少シシカ下ッテ居ラヌ、實ニ私ハ餘リ甘
過ギルヤリ方デアルト思フ、國民ヲサ
ウ甘ク見ナイデ、モウ少シ鹹ク見テ、
サウシテ税金ノ方デウソト甘クシテ
ヤッタラドンナモノカト考ヘル、是ガ私
共ノ本案修正ノ意見デアリマスガ、就
中私ハ酒煙草ニ於キマシテ、特ニ減税
ヲシテ貰ヒタイ、織物デアルトカ或ハ
砂糖ノ如キハ、値下ヲスル場合ニハ、

皆「トラス」ヲ起シテ、現實ノ値下ガ

大衆ニ及バナシ、是ハ能ク考慮ヲ願ヒ

タイ、値下ヲサセヨウト思フテモ、實際

ニ於テ「トラス」ヲ置イテ、値段ノ協

定ヲスルカラ、何等無産者ニハ利益ガ

ナイ、ソレヨリモ直接値下ニナル所ノ

煙草ナラバ、「バット」ナリ「朝日」以下ヲ

ドウゾ値下ヲシテ貫ヒタイ、就中酒税

ニ於キマシテハ、一圓以下ノ酒税――

「ウイスキー」ナリ「ブランデー」ナリ或

ハ焼酎ナリ、ア、云フ労働者ガ一日勞

働ヲシテ、サウシテ身體ガ綿ノ如ク疲

レテ居ル時ニ飲ム、ア、云フ一杯五錢

ノモノニ對シテ、半分ノ二錢五厘位ニ

値下ヲスルト云フ親切ト同情トヲ無産

階級ニ對シテ持ッテ貫ヒタイト云フノ

ガ、私ノ意見ノ一ツデアリマス

尙ホ私ハ今回政府ノヤラレタ事ニ付

テハ無産階級ハ非常ニ反感ト憎惡ノ念

ニ燃エツ、アルト云フコトヲ十分御考

ノ上デ然ルベク御賛成アラシコトヲ特

ニ願ッテ、修正理由ノ説明トスル次第

アリマス

○中村委員 只今松谷サンカラ修正動

議トシテノ御意見ガアリマシタガ、是

ハ一名モ賛成者ガナケレバ動議トシテ

成立シナイノデアリマスガ、今松谷君

ノ述ベラレマシタ事ニ付テハ、賛成者

ガアリマスカドウデスカ

○本田委員長 ソレハ採決ノ場合ニ確

メタイト思フテ居リマス

○中村委員 イヤ、動議トシテ成立ス

ルヤ否ヤ其點ヲハッキリシテ貫ヒタイ

○本田委員長 今途中ニ、修正動議ノ

賛否ヲ採決シマスガ、私ハ採決ノ場合

ニ賛成ガナケレバ、是ハ一ツノ意見ト

シテ聽イテ置キタイト思ヒマス

○中村委員 動議デハナイノデスカ

○本田委員長 松谷君ノハ修正ノ動議

デスカ動議デナイカ、其點ヲ確メテ置

ク必要ガアリマス

○松谷委員 修正ノ意見ヲ述ベタ譯デ

アリマス

○本田委員長 松谷君ガ修正動議デア

ルト言ハレルナラバ、サウシテ其修正

動議ガ成立致シマスレバ之ヲ論評スル

必要ガ起リマスカラ此點ハ……(修正

ノ動議デハナイト言ッテ居ル)ト呼フ者

アリケレドモ今ノハ修正ノ動議ダト

言ハレ、バ採決ヲシナケレバナラス

○松谷委員 ドチラデモ委員長ニ於テ

然ルベク願ヒマス

○本田委員長 唯意見トシテ述ベラレ

タモノトスレバ別段採決ヲスル必要ハ

アリマセヌ、動議ノ御提出チヤナイノ

デスカ松谷君

○松谷委員 動議デス、併シ御解釋ハ

自由デス

○本田委員長 ソレヂヤ是ハ先決問題

デアリマスカラ、松谷君ノ動議ニ付テ

採決致シマス、松谷君ノ修正動議ニ贊

成ガアリマスカ――賛成ガアリマセヌ

カラ動議トシテハ成立致シマセヌ

○永田委員 只今政友會ヲ代表サレマ

シテ、先輩大口君カラ本案ニ對スル詳

シキ御意見ガアリマシタ、要約致シマ

スレバ減税ニハ趣旨ニ於テ反對デハナ

イガ、本案ニハ其目的ヲ達スベキ恆久

性ガナイ、即チ財源ノ持合セナクシテ

減税ヲ圖ッテ居ルモノデアル、唯、紙ノ

上デ辻褄ヲ合セタモノニ過ギナイ、斯

ウ云フ御話デアリマシテ、結局編成替

ヲ求メル意味ニ於テ本案ニ反對ダト云

フ御結論デアリマス

本委員會ハ實ニ未曾有ノ長時間ヲ費

シマシテ、二十數回會議ヲ重ネ、又七

十時間餘討論ヲ續ケマシテ、政友會諸

君ノ御意見ヲ詳シク承ッタデアリマ

スガ、私共カラ見マス、ドウモ其意

見ニハ賛成致シ兼ねルデアリマス、

斯様ナ御意見ノ發生スルニハ、二ツノ

原因ガ此委員會ヲ通ジテ私ハアルト思

ヒマス、即チ根本ニ於テ反對黨ノ諸君

ハ、本年度ノ豫算竝ニ今後ノ豫算ガ總

テ歳入見積ガ過大デアル、昨年モサウ

デアッタガ、本年ノモ亦過大デアル、茲

ニモウ既ニ財源ト云フモノガ見積ラレ

テシマツテ、新ニ發見スルコトガ出來ナ

イ、況ヤ茲ニ提出サシテ居リマス此倫

敦條約ニ基ク減税案ハ、本年既ニ見積

リ過大ニナツテ居ル所へ、將來ニ之ヲ繼

續シテ行ク、其處へ持ッテ來テ、足ラヌ

所カラ又更ニ差引カウト云フノデア

ル、紙ノ上ダケニ殘サレテ居ル五億八

百萬圓ト云フモノヲ無理ニ擯出サウト

云フコトデアリマスカラ、益、其處ニ無

理ガ出來ル、斯ウ云フ御議論ガ中心ノ

ヤウニ思フテ居リマス

所ガ吾々ノ理解スル所ニ依レバ、倫

敦ノ海軍條約ニ依ッテ餘タト稱セラレ

ル五億八百萬圓ト云フモノハ固ヨリ紙

ノ上ノ財源デアリマス、豫算制度ト云

フモノガ、元々紙ノ上ニ現サレテ居ル

ニ過ギナイコトハ當然ナコトデアル、

是ガ紙ヲ除イテシマツテ何處ニ在ルカ

ト云ヘバ、少シモ發見スルコトハ出來

ナイ、政府ガ豫算ヲ編成シテ、サウシ

テ茲ニ辻褄ヲ合セテ本年ハ是ダケノ經

費ヲ使フ、來年ハ是ダケノ經費ヲ支出

スルト云フコトニ依ッテ辻褄ヲ合セル

外ニ辻褄ヲ合セヤウガナイノデアリマ

ス、唯御記憶ヲ願ヒタイコトハ、從來

ハ歳入ノ「バランスシート」ヲ取ッテ、一

錢一厘モ違ハナイヤウナ、殆ド不可能

ナ豫算マデモ組ンデ居ッタノガ例デア

リマスガ、今年ノ總豫算ノ如キハ結局

ニ於テハ幾ラカ餘リガアルヤウナ實際

的ノモノモ作ッテアル、斯ウ云フ譯デ

アツテ、常ニ豫算ヲ紙ノ上ニ現ス上ニ於

テ形式ガ變化シテ居ル、斯ウ云フヤウ

ニナッテ居ルノデアリマシテ、斯様ナ次第デアリマスカラ、無論吾々ガ之ヲ豫算トシテ討議スル上ニ於テモ、紙ノ上ニ書イタモノニ依ッテ議論ヲ進メルヨリ外ニ方法ハナイノデアアル、大口サンノ御議論ハ歲計十年表ヲ基礎ト爲サレテ、昭和十一年度ニナレバ僅ニ五千萬圓シカ臨時費中ニ繼續費ノ財源ハナイヂヤナイカ、斯ウ云フ御話、是モヤハリ十年計畫表ノ紙ノ上ノ御議論デア

ル、總テガ紙ノ上ノ御議論デアル以上ハ、吾々ハ紙上デ以テ辻褄ヲ合セルト云フコトハ一向差支ガナイ、此倫敦條約ニ依リマス五億八百萬圓ガ、斯様ナ基礎ノ下ニ出發ヲ致シテ居ルモノトシテ、サウシテ吾々ハ此財源ヲ以テ當時下外ニ聲明致シマシタ如ク、一方ニ於テハ國防ノ充實ヲ圖ッテ、國家ヲ安泰ノ地位ニ置クト共ニ、主トシテ其餘レル所ノモノヲ以テ減稅ニ充テル、斯ウ云フ趣旨ヲ一貫シテサウシテ茲ニ三億七千四百萬圓ヲ以テ政友會ノ所謂第一項補充計畫ヲ完成スル、サウシテ餘リノ一億三千四百萬圓ヲ此間ノ減稅資源トスル、斯ウ云フ方針ヲ茲ニ確立シタノデアリマシテ、此海軍充實計畫ノ三億七千四百萬圓ノ金額ガ足ル足ラナイト云フ御議論ハ、是ハ私ハ本會議ニ讓リ

タガ、此以外ニ於キマスル新艦艇ノ維持費ニ對スル御議論ハ、是ハ此際ニ於キマシテ此新艦艇維持費ノ財源ニ付テハ明カニシテ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、再三此點ニ付キマシテハ質問ヲ重ネラレマシテ政府ニ於キマシテモ此艦艇維持費ガ要ラナイトハ申シテ居ラナイ、要ルノデアアルガ、從來ノ豫算ノ形式ニ於キマシテモ、新艦艇維持費ハ何時モ新規事業トシテ要求ヲ致シテ、サウシテ其都度之ヲ埋合セラシテ居ル、是ハ從來ノ形式デアリマシテ、勿論海軍ノ希望カラ申セバ、此維持費ヲ財源トシテ取ッテ置クコトガ勿論必要デアアル、宜イ事デアアルガ、從來サウ云フヤウナ形式ヲ執ッタコトハナイノデアアル、即チ此五億八百萬圓ノ所謂保留財源ニ付キマシテモ、此中ニハ、新艦艇ノ維持費ト云フモノハ、是ハ勿論初メヨリ含ンデ居ラナイ、艦艇建造ノ費用トシテ是ハ殘サレタ費用デアリマス、故ニ此中カラ新艦艇維持費ヲ殘セト云フコトハ論理ガ矛盾ヲ致シテ居ル、此點ニ付キマシテハ十分ナル御理解ヲ得ナケレバ私共ハナラヌト思ッテ居ル、其次ニ昭和十一年以前ニ於キマシテハ首ヲ出スベキ新艦艇建造費、是ハ勿論海軍工廠建造能力ヲ維持スル上ニ於キマシテハ必要デアアル、斯ウ云フコトハ政府ニ於テモ無論聲明ヲ致サ

レテ居ルノデアリマス、コ、ヲ以チマシテ、ソレナラバ其費用ガ何處ニ在ルカ、新シク概計表ニ上ッテ居ルカ、ソレハ上ッテ居ラナイ、然ラバ五億八百萬圓カラ何故ソレヲ取ッテナイカト云フ御議論デアリマスガ、是ハ海軍當局ニ於キマシテモ再三御聲明ニアル如ク、未ダ其内容スラ殆ド未確定デアアル、海軍ハ相對的ノモノデアリマシテ、我國ガ自主獨立デ立ツベキモノハ、此今回ノ新設計畫ニ依ッテ根幹ガ成立ッテ居ル、故ニ之ヲ以テ自主的ニ海軍ハ事足りテ居ルノデアアル、國防ニハ何等不安モ感ジナイ、唯内外ノ情勢ガ政友會諸君ノ所謂第二次補充計畫ニ入ラナケレバナラスト云フ情勢ニ進ムヤ否ヤト云フコトハ、千九百三十五年ノ第二次倫敦會議ト申シマスカ、軍縮會議ノ情勢ヲ見テ、其處ニ海軍工廠ノ能力ヲ維持スルコト、是等ノ情勢トヲ加味シテ、サルウシテ茲ニ新シク案ヲ立テヨウ、斯ウ云フノデアリマスカラ、四五年先ニナッテ居ルコトニ對シテ、今日其案ヲ茲ニ具備スルコトノ出來ナイコトハ當然デアアル、是ガ殘サレテ居ルカラト云ウテ、財政計畫ガ前途ニ於テ極メテ不安デアアル、是デハ減稅ノ財源ト云フモノハ全ク胡麻化シデアアル、斯ウ云フ御議論ニハ吾々ハ贊成ヲ致シ兼ネルノデアリマス、即チ一億三千四百萬圓ノ減稅財源

ノ大要ニ付キマシテハ、吾々ハ斯様ナ立場カラ致シマシテ、極メテ安全ナモノト信ジテ居リマス
勿論現下ノ經濟狀況ガ極メテ萎微沈滞ヲ致シテ居リマシテ、國ノ賄ヒヲ致シマスノニ餘程困難ヲ感ジテ居ルコトハ、是ハ御互ニ遺憾トスル所デアリマスガ、政府ニ於キマシテハ之ニ依リマスル國家歲入ノ減少ニハ十分ナル覺悟ヲ以テ、サウシテ一大決心ヲ披瀝シテ、茲ニ來年度ニ於テ行政財政ノ整理ヲ致ス、之ニ對シテハ大藏大臣ガ昨日モ此席上ニ於テ、誇リガマシイ顔ヲスル譯デハナイガ、既ニ御叱ヲ被ッテ居ル如ク、二度モ實行豫算ノ編成替モシテ見タ、又今年度ニ於テ一億二千餘萬圓ノ節約中止繰延ヲシテ居ルヤウナ譯デアアル、中止繰延ヲシテ居ルヤウナ譯デアアル、教ニ自分ハ來年度、昭和六年度ニ於キマス行政財政整理ニ對シテハ、十分ナル覺悟ヲ以テ、必ズヤ茲ニ一大成績ヲ舉ゲテ、サウシテ此歲入ノ減少竝ニ從來ノ既定事業ノ繼續スルニ差支ナイ所ノ方法ヲ講ジテ見ル積リデアアル、斯ウ云フ堅キ決心ヲ示サレルノデアリマス、又先ニ申シマシタ紙ノ上ニ於テハサウナクトモ實行ガ出來ルノデアリマス、紙ノ外ニ於テ此決心ヲ持ッテ居リ、紙ノ上ニ既ニ計數ガ成立ッテ居ル以上ハ、何等茲ニ吾々ハ不安ヲ感ジナイノデアリマス、國民ハ舉ゲテ此倫敦海軍

條約ノ結果、其剩餘財源ガ減稅トシテ振向ケラレル、現下ノ不況ニ對シテ何等カ政府ガ策ヲ施シテ吳レルデアラウト思フテ凝視シテ居ルノデアリマス、實際ニ當テ此減稅ヲ行フ、而シテ先ヅ最モ不況ニ沈淪ヲ致シテ居リマス地主階級、農民階級、此人々ノ痛苦ヲ少シデモ減ズルガ爲ニ茲ニ主トシテ地租改正ヲ行ヒ、サウシテ從來不公平デアリマシタ所ノ地價ヲ修正シテ、之ヲ現實ニ近イ所ノ貸賃價格ニ持ッテ來ル、此貸賃價格ガ四年前ノデアアルカヲ現狀ニ合ハストカ合フトカ云フ議論モアリマスガ、是ハ稅ニ増減ナカラシムルト云フ立場カラ行ケバ同ジデアリマス、之ヲ貸賃價格ニ求メテ不公平ナカラシムルト云フコト、サウシテ減稅、此二ツヲ合セテ行ヒマスナラバ、之ニ依ッテ地方ノ地主階級ハ非常ニ助カルノデアリマス、然ラバ一方都會ノ地主ハ非常ナル壓迫ヲ受ケテ居ルカト云ヘバサウデナイ、三倍八割ノ制限ヲ設ケテソレ以上ニ急激ナル増加ヲ致サナイ、斯ウ云フ法案ヲ立テ、居ルノデアリマス、是ハ勿論四十二年ノ宅地價修正ノ時ナドニモ行ッテ居ルノデアリマス、此事ニ付キマシテ松谷君ノ御考ナドハ多少ドウモ附ニ落チナイノデアリマス、三倍八割ノ増加ヲスル、又或ハ地方ニ於キマシテ三割、四割下ル、増加スル方面、低

下スル方面トモ、急減ヲ避ケル爲ニ三倍八割ニ増加スル場合ニ於キマシテモ直ニ増加スルノデハナイ、増加率ヲ遞増シテ行ク、低下スル時分ニモ漸次低下シテ行クト云フヤウナ極メテ親切ナル取扱ヲシテ居ルコトニ御留意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

要スルニ若シモ此倫敦軍縮條約ガ成立タズシテ編成セラレタル豫算ヲ協賛セントスルナラバ、到底今日見ルガ如キ吾々ハ豫算ニ臨ムコトス出來ナイ、此五億八百萬圓ノ保留財源位ヲ以テ世界ノ海軍競争場裡ニ我國ハ立ッ譯ニ行カナイ、是位ノ金額デ到底吾々ハ晏如トシテ世界ノ海軍國ニ伍シテ行ク譯ニ行カナイ、然ラバ倫敦會議ガ決裂ヲ致シタナラバ、非常ナル多額ノ負擔ヲ吾々ハ強ヒラレナケレバナラナイ一艘ノ戰艦ヲ造ルノモ八千萬圓モ九千萬圓モ掛ル、既ニ華盛頓會議ヲ行フト致シマシテ是ダケ要ル、其處ニ競争ガ起ッタナラバヨリ以上ノ負擔ヲ吾々ハセナケレバナラナイ、然ルニ幸ヒニシテ此會議ガ成立チ、既定ノ經費カラシテ一億三千萬圓ヲ削ッテ、サウシテ之ヲ減稅ニ向ケルコトガ出來、將來又國防ニ對シテ不安ガナイ、若シモ千九百三十五年ノ會議以前ニ於テ、世界ニ海軍競争ノ徵候デモ現レルナラバ、直チニ之ニ對シテ手當ノ出來ルヤウナ確實ナル財

政計畫ヲ茲ニ立テ得タト云フコトハ、現内閣ノ一大功績ナリトシテ、私共ハ之ヲ天下ニ公表スルニ憚ラナイノデアリマス

要スルニ斯様ナ次第ヲ以テマシテ、吾々ハ本案ヲ通過セシムルコトハ、世界ノ海軍國ヲ安心セシムル所以デアリ内ニ於キマシテハ國民ヲシテ悦ンデ現内閣ヲ謳歌シテ行ク所ノ大政策デア

ル、一兩日來ノ新聞ヲ見マシテモ、此倫敦海軍條約ガ如何ニ有力デアルカト云フコトハ諸君ノ御承知ノコトデアラウト思フ、即チ當時ニ於キマシテハ佛蘭西竝ニ伊太利ノ如キハ此協定ニ這入ラナイ、單ニ海軍國トシテ三國ノミノ協定ニ終ッタノデアアルカ、今ヤ之ニ加入ラセントシテ居ル、是等ノ空氣ヲ見マシテモ、世界ノ海軍國ガ如何ニ平和ニ趨キッ、アルカト云フコトヲ觀取シ得ルノデアリマス、此程度ヲ以テ吾々ハ極メテ満足ナルモノト思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ政府提出原案ヲ支持スルモノデアリマス

○本田委員長 討論ハ終局シタルモノト認メマス、採決ヲ致シマス、大口君ノ原案返付ト云フ意見ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者 起立〕

○本田委員長 多數デアリマス、原案ノ通り決定致シマシタ(拍手)之ヲ以テ本日ノ委員會ヲ終リマス、次ニ更ニ申上ゲル事ガアリマス、併託ニナッテ居リマスル耕地整理法中改正法律案ヲ審議致シマスル爲ニ、三月三日午前十時ニ開會致シマス

午後六時散會

テ三割、四割下ル、増加スル方面、低

對シテ手當ノ出來ルヤウナ確實ナル財

爲ニ原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマ

爲ニ原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマ